

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年5月26日（水）

2 確認箇所

瓦礫類一時保管エリアF1

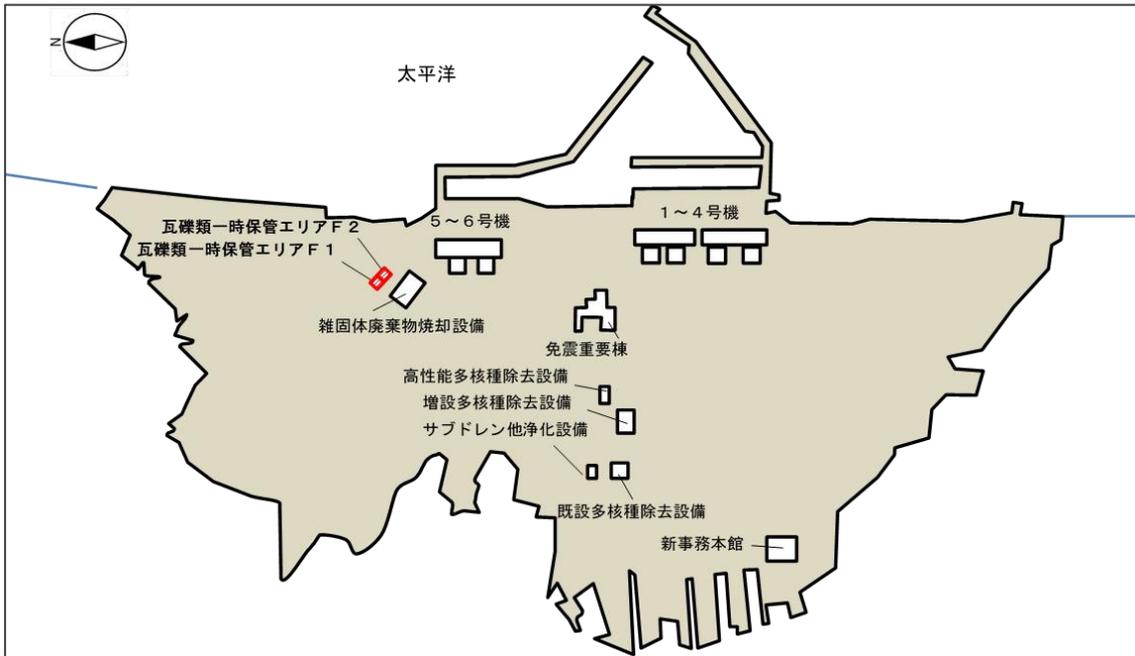
3 確認項目

瓦礫類一時保管エリアF1における瓦礫類の保管状況

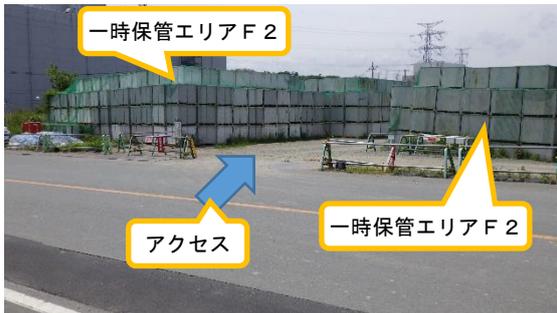
4 確認結果の概要

東京電力では、廃棄物管理の適正化の一環として、高線量の瓦礫類を一時保管している瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）F1及びE2を解消することとし、一時保管エリアF1においては高線量コンテナの詰め替え作業、一時保管エリアE2においては保管実態を反映した最大線量の切り下げを行うとしている。本日（5月26日）は、一時保管エリアF1における保管状況を確認した。（図1）（前回確認：[令和4年3月16日](#)）

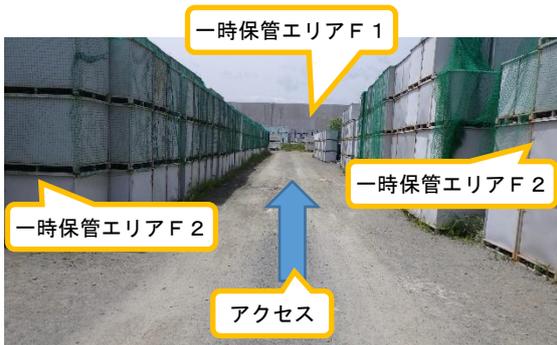
- ・一時保管エリアF1は、東側に隣接する一時保管エリアF2を通過してアクセスできるようになっており、現場確認時、隣接する一時保管エリアF2を含め、入り口付近に設置されていたバリケードは開放されていた。（写真1）
- ・エリア内では、大型のコンテナがエリアの境界に沿うように平積み～2段積みで保管されており、保管されているコンテナの手前にはバリケードが設置されていた。（写真2）
- ・エリア内で保管されているコンテナの表面には、錆が発生しているものが見られたが、確認した範囲では内容物の漏えい等は認められなかった。（写真3）
- ・東京電力では、今年の9月までに一時保管エリアF1及びE2の最大線量の切り下げを行うとしている。



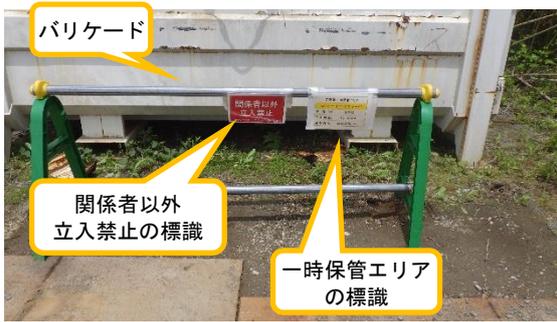
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
 入り口付近 (一時保管エリアF2)
 の概観
 (北東側から撮影)



(写真1-2)
 一時保管エリアF1 進入路の状況
 (東側から撮影)



(写真 2 - 1)
一時保管エリア F 1 の状況①
(南側から撮影)



(写真 2 - 2)
一時保管エリア F 1 の状況②
(東側から撮影)



(写真 2 - 3)
一時保管エリア F 1 の状況③
(東側から撮影)



(写真 3)
エリア内に保管されているコンテナ
の例

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。